FUCHU

2009年度東京支部の総会・懇親会は7月18日（土曜日）13時から16時まで、昨年同様学士会館で開催致します。（開会に先立ち12時30分から30分間名刺交換会も行います。現役の方、名刺を沢山お持ち下さい。）
当番幹事はS50年卒（高26回）を中心に、S40年（高16回）、S60年卒（高36回）の皆様です。

目　次

2009年　春

昨年の総会・懇親会の様子
2008年7月12日学士会館で　ページ 1〜3

昨年当番幹事の挨拶と感想
昭和49年卒（高25回）の皆さんが目指した自分たちも楽しめる懇親会の結果は・・・
ページ4

同窓生からの情報・寄稿
昭和37年卒の太田恵子さんから府中の名旅館「恋しき」情報と、昭和57年卒の森下（斉藤）ことみさん、平成7年卒の塩田さんからの寄稿その他
ページ 5〜6

東京支部会員名簿
現在登録してある会員の卒業年とお名前を掲載。（男女別、アイウエオ順に並べましたが、読みが異なったり、性別が違う事もあります。ご容赦下さい。）ご指摘下されば直ちに修正します。
個人情報の扱いについて
ページ7〜8

皆さんの近況報告
総会出欠葉書やFAX、メールなどでいただいた皆さんの近況です。
ページ9〜10

支部活動と母校
支部会則の改訂や、年次世話人制度・通信連絡賛助金などの提案他
ページ 11

今年度当番幹事の意気込み
会費値下げ。各種割引もご用意！

母校　修学旅行時の企業・大学研修の受け入れの経緯と協力依頼

編集後記
ページ 12

2008年の総会・懇親会の様子

受付は竹中さんをチーフに49年卒、59年卒大貫（旧姓 道下）さん、助っ人で55年卒柴床さんら、女性が担当。

司会進行の49年卒殿元さん

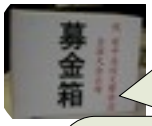
最も若い10番テーブル

平成11年卒の大村俊雅さんを中心に、平成7年卒塩田さん、昭和60年卒村上さん、59年卒大貫さん、57年卒の皿田さん、飯田（旧姓 近藤）さん、平山（旧姓 水金）さん、55年卒の柴床さん、長谷川（57年卒）

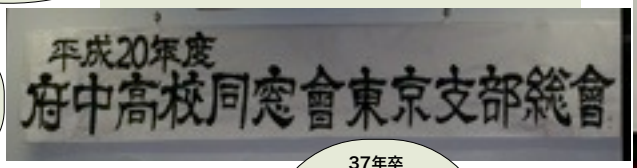
60年卒村上彩子さんのソプラノ独唱

「アヴェ・マリア」や、「この道」、「茶摘み・夏は来ぬ・おぼろ月夜のメドレー」などを今年も熱唱していただきました。

下の写真はサポート役の49年卒宮坂（旧姓 福地）さんと



全国大会出場の音楽部の応援に募金箱を準備



藤岡支部長（32年卒）

37年卒
吉田　憲司さん。
今年も見事な書をいただき、ありがとうございました。

左の写真は、この大看板を見上げる当番幹事の皆さん。

府中高校校長
下井泰全先生

創立100周年記念事業実行委員長の30年卒の浦上　浩さん。

会場には各年次の卒業アルバムも展示しました。

村上彩子さんがCDをリリースしました。『BLUE MOON…祈り』2008年6月1日発売　定価2100円（税込み）　内容は2頁以降御覧下さい。

式　次　第

会員総会　13時～13時25分

開会挨拶　支部長　藤岡　康宏さん　昭和32年卒（高8回）
会計報告　会計幹事　鎌倉　康裕さん　昭和40年卒（高16回）
監査報告　会計監査　山中　宮次郎さん　昭和34年卒（高10回）
同窓会の運営について　藤岡支部長から

懇親会　13時30分～16時

来賓挨拶　府中高等学校校長　下井　泰全様
100周年実行委員長挨拶　浦上　浩さん　昭和30年卒（高6回）
ソプラノ独唱　村上　彩子さん昭和60年卒（高36回）
乾杯　同窓会本部副会長　楢崎　洸様　昭和33年卒（高9回）
来賓挨拶　福山支部副会長　江草　国之様　昭和34年卒（高11回）
歓談　（テーブル対抗クイズ　あなたが選ぶ「備後弁　No.1」）
幹事挨拶　当年度幹事代表　石岡　義章さん　昭和49年卒（高25回）
「校歌」＆「ふるさと」斉唱
閉会挨拶　幹事長　小川　英光さん　昭和35年卒（高12回）

出席者

来賓
下井泰全　校長
楢崎　洸様
江草　国之様

（以下敬称略）

旧制府中中学
S19年卒
大永　勇作
勝場　則臣

S22年卒
浅野　節夫

S23年卒
谷口　隆志

S24年卒
石口　敏郎
藤井　尚
松坂　隆之

新制高校
S26年卒（高2回）
宅味　大治
藤村　広幸

S27年卒（高3回）
藤田　靖

S28年卒（高4回）
掛江　正浩
神田　庄二
桑田　弘也
永久　計朗
長久　雄三

S29年卒（高5回）
小川　勲
田中　忠夫
寺地　敏子（高山）
宮原　是中

S30年卒（高6回）
浦上　浩
桑田　澄江（住田）

新制高校 続き
小林　進
宮野　稜生

S31年卒（高7回）
掛江　正通

S32年卒（高8回）
磯西　フミコ（河本）
卜蔵　建治
金行　圭子（平田）
城戸　我夜子（高橋）
戸田　豊　常任幹事
後藤　広太郎
平田　玲子（坂本）
藤岡　康宏　支部長
前川　克也
松尾　保（宇佐美）
松岡　茂

S33年卒（高9回）
服部　保弘
森平　和美（小川）

S34年卒（高10回）
菊岡　隆
藤原　稔由
森川　裕司
山中宮次郎　監査

S35年卒（高11回）
小川　英光　幹事長
小川　博靖
唐川　安弘

S36年卒（高12回）
河毛　周之
菊岡　和俊
桑田　制三

S37年卒（高13回）
金田　邦彦　監査
神谷　俊男
山崎　重人
吉田　憲司

S38年卒（高14回）
菊岡　博子（佐藤）
佐藤　義雄　常任幹事
楢崎　昌哉

S39年卒（高15回）
飯田　幸子
井上　喜代子（広本）
宇野　正子（谷川）
松本　千恵子（藤岡）

S40年卒（高16回）
鎌倉　康裕　会計
立上　照二
寺岡　暉人
都丸　元恵（山本）
藪本　達雄

S41年卒（高17回）
萩原　洋子（木下）

S42年卒（高18回）
奥田　操
川部　武郎
田渕　ふみ子（山森）
前田　正治

S44年卒（高19回）
掛江　実
藤広　信良
宮崎　孝直

S45年卒（高20回）
小川　修司
香川　小枝子（池田）
君島　郁美（橋高）
木村　久丹彦
小貫　直行
日谷　伸児
渕上　正夫　常任幹事
松川　賢二
森鳰　節男

S47年卒（高23回）
今川　修吉
大浦　敬之
加藤　仁美
木村　健
延安　賢治
林　直美（水田）
藤原　善允
三上　温子（黒河）
森田　育宏

S49年卒（高25回）
石口　光志
石岡　義章
磯谷　鈴江（増川）
伊能　幸子（豊田）
小川　満行
高山　稔
竹中　廣虎
殿元　清司
橋本　雅文
濱本　純治
藤原　和嘉
本宮　正暁
本宮　直子
宮坂　初恵（福地）
山本　洋子（豊原）

S50年卒（高26回）
小田　昌一
川角　智子（林）
清水　和博
藤本　暢茂
和田　一義

S52年卒（高28回）
三藤　裕子
連下　佳代子
石木田　和恵（小林）

S55年卒（高31回）
小野　恵美（柴床）

S57年卒（高33回）
飯田　美雪（近藤）
皿田　泰二
長谷川陽一　常任幹事
平山　知子（水金）

S59年卒（高35回）
大貫　典枝（道下）

S60年卒（高36回）
村上　彩子

H7年卒（高46回）
塩田　律

H11年卒（高50回）
大村　俊雅

歓　談

本部副会長の楢崎さんを囲んで

S42年卒の皆さん

S34年卒の皆さん

旧制中学の先輩方と

備後弁No.1と東屋（ひがしや）のアイス

余興は、当番幹事の石口さんの進行で、テーブル対抗クイズ「あなたが選ぶ備後弁No.1」が行われました。

一番投票数の多い備後弁を当てたテーブルメンバー全員に賞品（ラルフローレン　タオル・ハンカチセット）が贈られました。最多得票は「おおどくしゃー」でした。

併せて、地元府中の東屋から取り寄せたアイスクリームが全員に配られました。

懐かしい味、大好評だった東屋アイス

全国大会出場の音楽部の為に会場内で集めた募金を下井校長先生に贈呈

2009年度の主幹事S50年卒の皆さん

5番テーブルは熟年世代S36年、37年、38年、39年卒の皆さん

中央の前支部長、掛江さん始め同窓会の礎を築いてこられたS20年代の先輩方と

今年は校歌に加えて、「ふるさと」をみんなで歌いました

こちら3番テーブルはS30年、31年、32年卒の皆様です

大盛況だった会の大団円。

ほっとした表情のS49年卒のみなさん

7番テーブルは全員45年卒の皆さんです

当番幹事を代表してご挨拶は石岡さん

8番テーブルも全員S47年卒の皆さんです

村上彩子さんのホームページ

（CD「BLUE MOON…祈り」　リリース！）

http://www8.plala.or.jp/bluemoon/

公演スケジュールや、ブログなど盛り沢山の内容です。

東屋（ひがしや）のアイスクリーム

E-mail　higashiya@pear.ccjnet.ne.jp

府中市府中町10-21　TEL0847-41-4001

当日の打ち上げは神田のお好み焼き屋で。ビールが美味しいっ！　皆さん、本当にお疲れ様でした。

当番幹事の反省と感想
S49年卒（高25回）

殿元　清司

それぞれ仕事や家庭で忙しい立場や事情がありながら、約4ヶ月間の長きに渡る準備に取組み同窓会を成功できたのも同期の絆がベースにあったからでしょうね。

藤原　和嘉

出張先で仕事の関係で常任幹事の渕上さんとお会いした折に、備後ゲーム、東屋のアイスなど非常に好評であったこと、また当番幹事への労いの言葉をいただきましたので、まず報告しておきます。

準備から本番まで大変お疲れさまでした。

私の場合、途中からの参加で大したことは出来ませんでしたが、率先垂範によりメンバーを率いてくれたリーダーたちと、各自の役割を十二分に発揮しあったチームワークが大成功の要因であったように思います。

また、多くの同級生が東京近辺に居て、三十数年ぶりに再会でき、そして同じ目標に向かって挑んだことは何よりも収穫でした。

さて、今年の同窓会における気づきや来年への申し送り事項に関しては、やはり人数の少ない若い世代のテーブルの盛り上がりが年配に比べて低いことが気になりました。

対策案としては、

・中心となる当番幹事に５０代だけでなく、４０代（来年の場合６０年卒）も半数くらい入れる。

・同窓会会報が出来ましたが、ホームページを立ち上げて会員名簿の作成及び管理と、母校や同窓会の話題を配信する。

（素人考えですが、ホームページは無理でも、インターネットやメールを使って、会員および同窓会出席者の拡大はできないものか）

・世代別に会費を設定する。（２０代、３０代は５０００円程度）

小川　満行

今後の課題として来場人数の推移だと思います。来場が増加していく事が望ましいのですが会の発展という地道な努力が必要ですね。

音楽部に対するカンパが思わぬほど集まった事やまた、村上さんのCDが思わぬほど売れた事をみればわかるようにすばらしい府中高のOBがいますから次回の幹事の人達に勧誘をどうするのか引継ぎをしたいものです。殿元さん、石岡さん、石口さん、同期のメンバーを引っ張ってくれてありがとうございました。

橋本　雅文

リーダーを中心に、皆が役割分担をきっちり全とうしたことが成功の秘訣だと考えます。

現在の後輩達よりも勉強はできなかったけど、発揮できたチームワークは素晴らしく、今後も皆の自信になると確信しました。

本宮　正暁

この４ヶ月の間本当に楽しいひと時を過ごさせていただき、ただただ感謝でいっぱいです。落ちこぼれ幹事で引っ込み思案の私を時には厳しく、時にはやさしく引張っていただき有難うございました。

これからは、このメンバーを中心に一人でも多くの同期が参集できるように、きずなを深めていきたいと思っておりますのでヨロシク！！

同窓会の感想ですが、唯一つ気になるのは、若い世代（平成）の参加が皆無に近いことです。私も昔は案内をもらっても敷居が高く感じ、食べず嫌いになっていたように思います。対策の名案は浮かびませんが「当番幹事の世代を若くする（来年は５０年、６０年、平成年代）」「今年度の参加者で平成の人脈につながりのある人を探し事前にアプローチする」等々・・・・。

これからの東京支部の発展を考えると、この命題は避けて通れないと思います。

いずれにしましても、我々４９年は年末の忘年会で必ず再開しましょう！！

石口　光志

＜成功要因＞

1）支部幹事会（4/19、6/21）との整合性があったこと（無駄な取り組みをしなかった）

2）S49年卒だけに任されたので、纏まりがあったこと（終了後の懇親会が効いた！）

3）殿元さんの尽力で、比較的集まりやすい場所に会議室を確保できたこと

4）逆に集まりが遅かったことから、気を抜く暇がなかったこと（常に適度な危機感があった）

5）特にアイデアが豊富で、同窓会の内容を変えて、楽しもう（楽しませよう）ということに力をさいたこと

6）司会（殿元）の時間管理が素晴らしく、余裕をもって進行できた。

7）ここが肝心！みんな不平不満を言わないで、よく働いた。エライ

＜失敗原因＞

1）早く来た人の談話場所がなかったこと　会場設営が少し遅れた。

2）椅子の設営が少なかったこと　–でも臨機応変に対応した。

＜その他＞

１）料理は丁度いい具合だと考えているがどうだったか。

–セットメニュー（2007）から個別メニュー（2008）に変更

２）懇親会のテーブル–角テーブル（2007）から丸テーブル（2008）への変更–動きやすくした

３）懇親会の設営–2007年は第１部の椅子をそのままにしたが、2008年では撤去して部屋を広く使った

４）東屋のアイスクリーム提供–昔懐かしの工夫　–バニラ／抹茶／小倉の３種類を用意した。

５）クイズの導入と雰囲気–３種類のクイズを用意したが、場が盛り上がっていたのでギリギリまで実施を我慢した。

結局、備後弁クイズのみとなったが、雰囲気を壊さないよう配慮した。

皆様に喜んでいただきうれしく思います。
どうかなと思いながら勝手にパンフも同封させていただいたのですが・・・
ありがとうございました
同窓会後すぐに注文してくださった方もおられました。
また府中に帰られたら石口様もぜひ来て下さい。

こちらこそ本当にお世話になりました
幹事の皆様によろしくお伝え下さい
どうもありがとうございました

東屋　馬屋原順子

同窓生寄稿

昭和37年卒（高13回）太田恵子

ふるさと府中市の名旅館“恋しき”・・府中で過ごした人ならどなたでもご存じのはずです。

現在は国登録の有形文化財となり一般公開されています。明治・大正・昭和の120年の歴史を継承し、犬養木堂、吉川英治、井伏鱒二、高松宮殿下、岸信介・福田赳夫元首相、永六輔、梶山季之、吉幾三、八千草薫、ダークダックス、ペギー葉山、戸川昌子など著名人がたくさんお泊まりになったそうです。

京都から高僧を招いて築庭した雅やかな日本庭園。そば処、食事処、おみやげ処、cafeすいれんなど、潤い有る美しい空間があなたの心をゆったりと包みます。帰省されましたら是非足をお運び下さい。

昭和57年卒（高33回）森下ことみ

私は、結婚を機に上京、専業主婦として10年ほど過ごしたのち、女性3人で出資をして有限会社を設立しました。

起業のきっかけは、三鷹市の施設でのアルバイトでした。

三鷹市は1998年に全国の自治体に先駆けて、SOHO（Small Office Home Office：情報機器を活用しながら、小さな事務所や自宅をオフィスとする就労形態）を集積させる目的で『三鷹市SOHOパイロットオフィス』を立ち上げました。SOHO事業者が入居するその施設の受付事務が私の仕事でした。そこで毎日忙しく働いているSOHO事業者を見ていて、「お手伝いできることはないか」と思ったことが起業につながり、入居者はじめ周囲の後押しや、三鷹市の起業支援メニューの活用により、2004年3月に有限会社そーほっとを立ち上げました。

「そーほっと」という社名は「SOHOがほっとする」という意味。そして在宅介護にホームヘルパーが必要なように、「事業のお手伝いはビジネスヘルパーにお任せください」というものです。

主な業務は、転送電話の一次対応（6,000円／月～）、事務局代行（私書箱サービス＋電話転送一次対応＋名簿管理）（15,000円／月～）など。また顧客の要望に応じた業務代行サービスも行っています。最近では大手企業やNPOなどからの受注も増えています。

繁忙期は土日もなく、寝る間も惜しんで働きますが、ストレスはあまり感じません。「自分がやると決めたこと。ダメなら責任は自分がとる。辛くても苦しくても、自己完結できる」のが、精神衛生上良いようです。

昨年は、「東京セブレ」というオリジナル菓子の製造販売も始めました。独自のレシピを開発し、製造は三鷹市内の福祉作業所に委託しています。この商品の製造販売を通じて、福祉作業所や病院などに新しい人脈ができ、ますます仕事がおもしろくなりました。

振り返ってみると、起業の本当の動機は、当時の閉じた世界に居続け成長のない自分自身への不満だったのかもしれません。

もう一つ、起業して良かったと思っているのは、高校の同級生の夫と仕事の話ができるようになったこと。私は２０年の周回遅れですが。

2008年4月12日　読売新聞より

いうネーミング。実は「せんべい」と「サブレ」の間を取った。しかし、ある大学教授から「セブレは、フランス語で真実という意味だと教えられて以来、三鷹の真心が詰まったお菓子」と説明している。

森下さんは、作業所での試行がうまくいかず、精神障害のあるスタッフから「大丈夫、きっとうまくいくよ」と励まされたことを忘れない。「パッケージやロゴのデザインも、三鷹のSOHO仲間が協力してくれた。みんなの力が結びついてできたお菓子で、市民に愛される商品になれば」と話している。

セブレは三鷹駅等うち1箇の店舗で販売している。一箱8枚入り700円。注文や問い合わせは、そーほっと（電話…）。

街かど経済散歩
江上 剛
菓子
「SOHO」と街づくり

2007年6月27日　朝日新聞より

左が森下さん、右は東京セブレ開発者の永澤さん

平成7年卒（高46回）塩田　律

皆様、歌舞伎をご覧になられたことはありますか？

私の専門にしている三味線音楽「清元」といいますのは、江戸時代後期に生まれ、歌舞伎の伴奏音楽として育った古典音楽で、ジャンルとしては「浄瑠璃」というジャンルにカテゴライズされます。歌舞伎の舞台の上手（時に下手）に雛人形のような赤い毛せんの雛壇を組んで、その上で生演奏をつとめる姿をご覧になられた方もいらっしゃることと思います。

私はその「清元」を専攻科目として勉強し、東京芸術大学邦楽科、修士、博士課程を修了し、演奏・創作活動をもっぱらにしております。

幼少より日舞・バレエなどを習い事として勉強しておりましたが、どちらにおいても日本における中心地は東京であろう、と、府中高校の卒業と同時に上京してまいりました。最初に部屋借りした建物の近所でお稽古場をひらいていた清元の師匠と偶然出会い、手ほどきから教わっておりましたが、その頃は自分が今日のように清元を専らにする気は微塵もなく、ひとえに日舞の伴奏音楽でもある清元を、日舞のために知識の一つとして習っておりました。二年ほど研修を重ねたころに偶然芸大邦楽科の存在を知り、清元以外にも様々な邦楽、音楽全般に関する専門知識を学べると聞いて、翌年受験し入学いたしました。

授業カリキュラムの一として、作曲をする機会があり、その作品を教授に評価していただいたことがきっかけで本格的に創作に力を入れ始めました。そもそも古典作品は作詞と作曲が分業で行われるのですが、博士では、論文のタイトルでもある『現代に活きる清元節の創作―文芸と作曲の一括制作―』を研究テーマに、演奏者による作詞作曲作品について、その試行と可能性を追求してまいりました。

今日では、演奏・舞踊家さんからのご要望に曲を提供・舞台の脚本・専門誌への作品解説執筆などを手がけております。

主な脚本執筆としては、京都祇園東の花柳界（芸妓・舞妓さんのメッカ）が年に一度打ち立てる『祇園をどり』の台本構成・作詞を４～５年前より担当させていただいております。毎年十一月一日～十日、八坂神社はす向かいの祇園会館にて興業されている、京都の伝統行事の一つです。

府中高校での思い出を少し

幼少より習い事をしてきたのは既述のとおりですが、日舞の発表会に際して、当時古典を教えて下さっていた皿田文隆先生を会にご招待したことがございます。皿田先生は、生徒の中では〈厳しくコワイ先生〉として通っておりました。授業中に生徒に質問を投げかけ、応えられなければ立たせたまま、という、厳しく熱心なご指導ぶりでした。先生は古典文法表などの暗記ものも生徒にみっちり丸暗記させておられました。

「君達の先輩にあたる卒業生と会ったが、彼らに『昔厳しく教えられたことに感謝している』と言われた。だから私は厳しく教える」と、授業中におっしゃったのを覚えています。

そんな先生が舞踊会を観に来てくださったのですが、その翌日に行われた期末テストの私の解答用紙の余白部分につらつらと赤字で舞台の感想を書き綴って下さっていました。

あれから十年以上の月日が流れました。今私が専らにしております邦楽の作詞に欠かせぬ知識である古典文法をみっちり仕込んでくださった先生に、とても感謝しております。次にお会いしたときには、私が卒業生として、先生の厳しい教えに感謝をのべたいとおもっています。

塩田　律　〈略歴〉

芸名／清元延佳月、執筆名／塩田律。

１９７６年福山市生まれ。東京芸術大学邦楽科・修士・博士課程修了。安宅賞・浄観賞・アカンサス音楽賞など受賞。主な作曲作品／ＣＤ『犬のざれごと・夫婦万歳』（日本舞踊社より　舞踊新曲集〈一〉として　２００６年発売）など。

昭和57年卒（高33回）長谷川　陽一

府中高校2008年度修学旅行企画
「聞かせて先輩　東京編」

2007年から府中本部同窓会が全面協力し、府中高校で毎年定期的に行われている「聞かせて先輩」という企画の東京版への協力依頼がございました。

地元の経済情報誌にも特集されました

常任幹事会の承認を得て7月30日　宿泊先である錦糸町「東武ホテルレバント東京」で約40分（予定を10分もオーバーしてしまいました）自分自身の生い立ちを含め、高校時代の思い出、現在勤務する会社の概要や社会人として求められる資質についてお話しました。

240人の後輩達（しかも私の子供と同じ位の年齢です）を前に、その中には同級生の子息も居るとわかり、事前準備の不手際もあって、話が脈絡無くぽんぽんと飛んでしまって、思っていることの半分も話す事が出来ませんでした。

自分では老婆心で先回りして、人生のノウハウを伝えたいのですが、その年齢で受容できる事には限りがあると、もっとシンプルに分かり易く話せば良かったと反省しています。

しかしこれをきっかけに、 12頁に詳細をご紹介しておりますが、 下井校長先生から「今年2009年の修学旅行時の企業・大学研修に東京支部のご協力を仰ぎたい」旨申し入れをいただき、この度、東京支部会員の皆様にご協力をお願いする事になりました。

母校や若い世代への貢献ができれば、同窓会の本来の目的に適ったものと思います。

東京支部に現在登録のある皆様の一覧

平成17年時点の情報を元にして現在まで追加・削除・更新してまいりました。転居やお亡くなりになられた方等の情報、また「「同期の方のお名前が載っていない」「名簿から削除して欲しい」等ございましたら、お手数ですが名簿管理担当　長谷川（57年卒　高33回）までお知らせ下さい。

府中高女

昭和7年卒
青山　初音
井上　静枝（近藤）
関口　浩子（西松）
野田　春枝（高橋）
平田　信　（今田）
古川　政枝（尾迫）
吉田　トミカ（安原）

昭和8年卒
青山　裕子（佐藤）
石川　昌枝
杉原　辰子（倉田）
矢田部千寿子（小野）

昭和9年卒
佐藤　八代子
高島　タカエ

昭和10年卒
加納　敏恵
佐藤　恵美子（長谷川）
桝田　君江（吉岡）
村上　貞子（桑田）
行廣　育子（内田）
山口　依子（小川）

昭和11年卒
池田　綾子（瀬尾）
小橋　友江（藤田）
中村　八重子（長尾）

昭和12年卒
宇喜多富美子（下江）
橋高　由恵（加納）
大久保　愛（杼原）
小泉　敏子（福沢）
姿　　達江（和田）
渡辺　美智子（前原）

昭和13年卒
奥家　国代
遠藤　綾子（松浦）
清峰　久江（水馬）
小池　治子（門田）
三原　シゲコ（有地）

昭和14年卒
阿蘇　町乃（坂本）
桑原　澄子（三田）
菅野　妙子（井上）
沢田　秀子（森田）
高垣　恵美子（藤木芙子）
高木　一美（光成）
高橋　百合子（長谷川）
豊　　操（藤井）
原　　清江（新城）
宮原　美弥子（小田）
門田　宮子（千葉）

昭和15年卒
石井　妙美（桑田）
江草　小夜子（児玉）
児玉　珠子（光成）
末吉　三対子（有地）
田村　ヤス子（深田）
中野　智子（佐藤）
柳澤　昌子（小川）
利　　富美子（小野）

昭和16年卒
赤木　愛子（小野）
大植　清子（信岡）
岡田　公子（三好）
小川　正子
中原　初枝（柳父）
本多　清子（若林）
山内　千磨子（古藤）
湯原　良江（佐藤）

昭和17年卒
上原　静枝（山本）
小川　知恵子（甲斐）
橋高　幸子
栗野　政子（藤原）
後藤　友栄
佐藤　美津恵（市場）
山井　薫（吉田）
渡辺　梶子（奥家）

昭和18年卒
青木　トラ子（宮本）
大澤　年子（坂本）
児玉　富美枝（有地）
千葉　ツギ子（大江）
東郷　澄江（石口）
児玉　寿美子（児玉）
広瀬　敏枝（佐伯）
村田　美代子（児玉）
山口　睦子（佐藤）

昭和19年卒
伊吹　久子（奥家）
井本　昭子（植村）
柏木　美智子（中山）
串田　繁子
小島　閑湖（掛谷）
高橋　幸子（山中）
寺田　千恵子（斜森）
寺田　千枝子
原田　昭恵（八島）
藤井　美恵子（永岡）
吉野　伊都子（仙頭）

昭和20年卒
井口　喜美子（岡本）
井田　清子（河上）
小野　瑞子（小田）
笠原　千里（谷川）
金田　久美子（滝本）
蔵本　紀子（山本）
陶山　昭子（伊豆野）
野田　芳子（藤村）
山崎　めぐみ（杼原）
山本　千恵子（寺岡）

昭和21年卒
桑原　陽子（瀬尾）
小林　ヒサコ（小川）
田和　生子（小畠）
藤川　益子（大谷）
本多　澄子
松末　芳子（高橋）
谷澤　弘子（高橋）

昭和22年卒
金田　久美子（滝本）
敷村　美津江（渡辺）

昭和23年卒
厳城　幸子（水野）
梅田　美智子（佐藤）
大本　章枝（森光）
金田　隼子（原）
亀田　恵美子（児玉）
川口　澄出（皿田）
菊地　昭子（橘高）
西条　禮子（立神）
高橋　幸子（前田）
高橋　等江（重森）
福井　千恵（長行事）
藤瀬　佐知子（政岡）
星野　郁子（橘高）
町田　妙子（馬屋原）
山下　嘉久子（山崎）
山田　恵美子（山田）
山本　和枝（中村秋子）
脇谷　里子（信岡）

昭和24年卒
浅井　和恵（下間）
井上　恵子（竹本）
卜部　節子
柴崎　清湖（森光）
高田　静子（井上）
武安　茂子（佐々木）
豊島　弘子（塩谷）
久末　久子（八島）
平井　陽子（毛利）
藤村　圭子（川瀬）
門田　ミヨ子（山田）

旧制府中中学

昭和2年卒
小野　吉夫
桑田　敏郎

昭和3年卒
尾崎　行雄
隅田　竜雄

昭和4年卒
岡田　幸一
佐藤　清一
寺岡　敬信
野村　百一
彦坂　正夫
藤田　一雄

昭和5年卒
浦上　達夫
大井　良武
柳父　慶治

昭和6年卒
高橋　武士
平田　寅之助
渡辺　俊三

昭和7年卒
児玉　勝巳
佐藤　守

昭和8年卒
池田　忠夫
松本　清

昭和9年卒
飯田　辰雄
岩村　一
清峰　哲弥
徳永　健郎
成島　規

昭和10年卒
水原　敬介

昭和11年卒
有馬　孝行

昭和12年卒
下村　一登
高橋　徹
三島　冬嗣（秋坪）
渡辺　八郎

昭和13年卒
池田　裕三
内海　収六
宅味　義孝
延藤　安男

昭和14年卒
勝場　柾
唐川　富雄
児玉　眞一
榊　　博
高橋　規行
森岡　武志

昭和15年卒
渥美　行雄
石原　光
松本　公一
水田　克巳

昭和16年卒
今井　得志
小田　卓二
長谷川　武
前川　光男
吉田　耕三

昭和17年卒
有地　道輝
稲垣　大作
北川　美生
原田　豊
松田　忠士
松本　洋二
森田　益示
横藤田　正

昭和18年卒
江種　恭三
小川　友二
本多　徳郎

昭和19年卒
大永　勇作
小田　精司
勝場　則臣
密山　計三
福万　泉
藤村　鋼作
門田　晟
門田　忠義
柳島　啓三
山本　巌

昭和20年卒
内田　秀志
大木　久司
鎌田　芳治
橋高　昭人
竹山　正
谷口　善志
田原　順三
藤村　久雄
古林　尚
山上　博雅
横藤田　輝義
板野　平
橋高　大典
桑田　喜久己
桑田　健市
住吉谷　照司
永倉　英資
長谷川　暢洋
宮崎　茂
吉岡　勝人

昭和21年卒
井上　薫
信長　修
藤田　昭三
安原　一雄

昭和22年卒
浅野　節夫
市場　喜三郎
大塚　欣二
鴨志田　淳
桑田　増二
児玉　昭五
小林　章人
小林　秀雄
高西　忠司
棗田　光行（能宗）
福島　章二
山上　文雄

物故者
田中　毅（森田）

昭和23年卒
久保井　和雄
河面　貢
住田　利夫
高森　邦明
谷口　隆志
山中　玄造

昭和24年卒
石口　敏郎
井伏　圭介
桑田　勝利
福元　克治
藤井　尚
松坂　隆之

新制高校

昭和24年卒（高1回）
木村　成幸

昭和25年卒（高1回）
市川　角一
占部　泰造
小川　功
北山　陽三
橋高　徹
佐伯　一重（延藤）
重森　良樹
下　仁左衛門
瀬尾　政民
高橋　悳
高橋　俊二
高橋　正巳（小早川）
滝谷　滉
伊達　昭二
谷本　巌
谷森　正親
辻　　武保
徳山　三郎
中元　新元
信岡　英郎
平川　敏夫
平田　和義
藤井　満
藤本　利雄
三浦　一郎
道田　慷蔵
宮崎　昌士
山岸　信之（若林）
山手　茂
山本　政則
北島　浩子（大永）
鈴木　洋子（宇野）
谷口　千代美（永久）
伏見　芳子（河村）

昭和26年卒（高2回）
荒川　武男
井口　杲三
井上　和美
井上　洋
今井　広志
内山　祐以智
小川　智士
甲斐　昭次
唐沢　信安
橋高　一二
児玉　和
後藤　旭
後藤　朋智
小林　重義
佐藤　吉彦
高垣　善男
高橋　進次
高橋　政美
宅味　大治
富田　耕司
豊田　菖
能島　豊
服部　守弘
藤井　信之
藤村　宏幸
宮　　進
森田　祥一
森分　裕
安田　祐治
矢野　勝彦
吉田　良三
和田　茂
加賀美　勤子（橘高）
桑田　武子（村上）
小林　秀子（池田）
末永　俊子（田村）
田代　昌子（加藤）
土田　弥寿子（森田）
浜元　弘子（是石）
前田　克巳（佐伯）
松本　稔子（土屋）
宮本　慶子（宮本）
山田　敏美（毛村）
山本　和代（小川）

物故者
出原　万三

昭和27年卒（高3回）
穐山　恕
池田　裕昭
石岡　勝喜
石村　暢通
出原　敏行
井上　千歳
内田　泰三
鎌倉　憲治
河上　俊一
久保　覚
桑田　昇
作田　彰重
迫　　優
佐藤　真琴
真田　進
鹿見　恒夫
白井　満洲治
助迫　邦利
高橋　卓巳
土井　由夫
中根　清治
斜森　勲
仁科　和雄
長谷川　好照
原田　佳治
藤坂　奎介
藤田　靖
松岡　稔
三上　良昭
三原　寛治
森原　誠至
矢田　元是
山本　武則
渡辺　慶祐
今川　京子（住田）
今田　節子（藤岡）
上保　エイ子（三浦）
枝元　武子（石川）
越智　整子（末房）
川上　治（森信）
菊地　瑩子（北川）
橘高　治枝（皿海）
吉良　弘子（田部）
工藤　モモヨ（大野）
佐藤　直枝（栗本）
佐藤　益子（橘高）
白井　時子（柳島）
清光　宮子（柳島）
西谷　操（皿田）
福元　和子（畠山）
松尾　久恵（粟根）
松村　明美（卜部）
森　　富士子（滝安）
吉村　千香子（木村）

昭和28年卒（高4回）
荒川　清
池田　利明
石川　穣一
江草　唯光
奥田　二也
尾高　正充
掛江　正浩
金行　寛治
鎌倉　照光
川原　進
神田　庄二
橘高　泰司（本部会長）
桑田　弘也
桑田　義和
児玉　克治
小林　潤
定森　康三
佐藤　圭志
高山　芳博
千葉　薫三
友方　千別
苗代　平造
永井　昇
中田　年信（利勝）
永久　計朗
長久　雄三
平田　泰資
前田　弘
松本　修三
山崎　甫久
山本　郁雄
吉川　幸司
吉本　亮三
赤繁　昌子
板垣　秋江（石口）
小林　タマエ（石川）
小宮　昌子（土井）
佐藤　勝美（平井）
瀬戸　律子（白貝）
滝野　恭子（桑原）
知光　浩子（佐藤）
西澤　郁江（橘高）
水島　恵子
村上　幸恵

昭和29年卒（高5回）
有地　資典
市場　正敏
宇野　文也
枝廣　幾悦
小川　勲
尾高　壽俊
郷丸　政幸
後藤　修司
佐々木　徳尚
佐藤　詔三
渋谷　道尚（高橋）
杉原　正治
高尾　矩行
武田　隆夫
田中　忠夫
田原　忠純
細川　進
細川　信
松坂　大太郎
水田　博文（大戸）
宮原　是中
村上　忠弘
湯谷　志津夫
佐藤　暎子（赤松）
寺地　敏子（高山）
平山　葎子（林）
村　　久米子（井上）
室井　朝子（山本）
森信　節子
矢田　弘子（貞光）

物故者
正武迫　英明

昭和30年卒（高6回）
青野　真志
伊豆野　寿
浦上　浩
大石　好文
紙本　真樹
唐川　睦夫
河本　央
橘高　昭男
楠田　皓
桑田　廣重
廣本　昭二
小林　公孝
小林　進
佐々田　正彦
高辻　知義
高橋　重忠
土居　千治
戸田　裕
豊原　尚夫
中居　嗣雄
根来　広光
野田　佑（伊藤）
平櫛　克巳（皿海）
道下　實
宮野　稜生
吉川　周作
伊賀　幸子（竹内）
市川　悦子（佐藤）
馬屋原　弘子（後藤）
大岩　滋子（清水）
金行　玲子
桑田　澄江（住田）
桑野　絹枝（森分）
小玉　真砂子（桑田）
古屋野　房子（森上）
清水　緑（長谷川）
滝口　敬子（中塚）
田里　幸子（湯藤）
田中　洋子（大江）
田中　三千代（北川）
楢崎　弘子
能島　小枝子（永久）
延谷　幸子（森本）
平田　八重子（松岡）
村中　初枝（池田）
森重　満智子（東谷）
吉村　臣令（小埜）

物故者
大上　俊爾

昭和31年卒（高7回）
相原　卓司
井上　信次
井本　昌樹
大田　博通
大前　尭右
掛江　正通
河原　匡弘
小林　成喜
重田　弘毅
則末　昭雄
藤井　康暢
丸山　正種
三木　俊三
宮奥　禎造
宮本　俊二
山崎　令氏
山本　啓司
岡本　三子（高橋）
神成　美紗登（豊田）
河原　順子（尾高）
桑原　啓恵（下川）
密山　里子
田中　スミエ
為房　怜子（高橋）
戸場　幸江（山崎）
楢崎　恵久
野田　博子（小林）
藤原　洋子（戸田）
宮川　美代子（神野）
森澤　逸子（竹内）

昭和32年卒（高8回）
石森　行人
内田　謙三
内海　岱基
馬屋原　志郎
奥田　陽三
小野　悟
甲斐　光生
鴨田　卓爾
後藤　広太郎
貞清　行男
佐藤　勲司
庄野　諄（戸原）
鈴岡　靖之
曽根　正雄
楯　　忠夫
田丸　英司
戸田　豊
中江　宏
中野　昌雄
廣川　正博
藤岡　康宏
藤原　秀人
前川　昭彦
前川　克也
松尾　保（宇佐美）
松岡　茂
松岡　寿昭
溝口　美則
三谷　明（福山支部会長）
山岡　明光
池上　晃子（土谷）
磯西　フミコ（河本）
尾谷　敏子
金行　圭子（平田）
河上　紘子（中村）
神田　通子（細井）
城戸　我夜子（高橋）
小島　桃子（住田）
高瀬　幹枝（松井）
高根　桂子（宮岡）
西山　智子（中戸）
平田　怜子（坂本）
松本　雅子（小川）
宮本　竹子（高橋）
渡辺　登美子（北川）

物故者
松岡　茂樹

昭和33年卒（高9回）
浅野　恭行
池平　茂勝
大石　泰明
唐澤　正明
黒瀬　義明
小林　文雄
下江　利忠
田辺　忠昭
谷本　繁登
戸原　優
友安　康夫
豊原　憲二
中村　勝治
棗田　悠二
楢崎　重人
楢崎　洸（吉田）（本部副会長）
橋本　立身
長谷川　晋朗
服部　保弘
福万　博教
前田　英雄
毛利　禎次
山崎　章二
天野　節子（福原）
有地　恭子（河野）
石岡　書乎（小林）
出原　泰子（真田）
宇佐美智和子（佐々木）
岡脇　光枝（岩下）
鐘尾　和子（井上）
川相　敬子（柏原）
城戸　通子（古川）
木虎　夕美子（田口）
佐藤　タカ子（高橋）
祐定　美枝子（樋本）
脊尾　千代子（光成）
塚本　綏子（天野）
寺島　ひろ子（松浦）
松島　典子（瀬尾）
松成　英子（能島）
森平　和美（小川）

昭和34年卒（高10回）
蘭牟田　規夫
大上　康一
岡　　健三
金尾　芳成
菊岡　隆
北川　義行
後藤　輝昭
酒井　進
鈴木　皖之
妹尾　広
武田　護
田辺　五三
永谷　喜二
中山　幸雄
藤原　稔由
見平　逸二
森川　裕司
山中　宮次郎
山根　俊一
石田　紀子（中戸）
加藤　ちえ子（田口）
河原　紀子（松岡）
小泉　満子（江種）
小原　瑞枝（有田）
斎藤　喜代（有地）
佐伯　澄江（谷川）
三枝　佐江子（小林）
佐藤　敦子（小川）
佐藤　紀子（横山）
佐藤　満子（竹本）
藤井　敬子（桑田）
藤原　和子（清川）
前原　正子
松本　幸恵

昭和35年卒（高11回）
有地　英紀
石井　章之
市川　義巳
植岡　武夫
小川　英光
小川　博靖
甲斐　只司
唐川　安弘
児玉　務
近藤　征二
真谷　紘
高尾　福巳
高田　英昭
永久　幸雄
中山　秀雄
野村　悦弘
藤木　秀夫
村上　直和（久保）
村上　三郎（葛石）
森上　繁
森田　道雄
山崎　甫
石森　成子（三原）
井上　敏子（高山）
上林　櫃子（栗原）
橋高　敏文
国松　浩子（森信）
崎谷　璋（下江）
角倉　千代江（大橋）
高場　光恵（田中）
富永　碩子（海野）
堀内　ヨシミ（宮下）
向山　嘉子（葛石）

昭和36年卒（高12回）
井本　隆志
宇野　精介
大永　貴規
樫本　義寛
鎌倉　康夫
河毛　周之
菊岡　和俊
黒木　主晴
桑田　制三
桑田　英宏
五阿彌　延衣
小林　健二
小林　秀雄
坂本　幸喜
重田　義孝
末村　正義
野宗　信之
野宗　治利
原田　昭敏
広川　克郎
宮原　厚允
山口　宣徳（野村）
山根　兵
吉岡　一弘
阿部　範子（長谷川）
小田　純美（菅野）
買原　雅恵（木下）
小谷　むつ子（吉津）
児玉　博子（土谷）
坂本　和子（赤毛）
徳田　典文（中居）
永沢　紘子（吉本）
野田　美雪（高橋）
橋本　洋子（金尾）
前田　美恵子（龍田）

退会
森　主計彦（帰省）

昭和37年卒（高13回）
出原　靖弘
小川　隆義
柏原　宣晃
金田　邦彦
神谷　俊男
黒木　武彦
俵　　英義
服部　治
細川　謙
政近　裕
松岡　忠勝
麦田　四郎
門田　精二
山崎　重人
吉田　憲司
吉津　宜英
青野　紀美子（小田）
朝野　睦子（山中）
香山　拓子（瀬尾）
河村　恵子（土永）
小林　政子（岩淵）
斉藤　美智子（北浦）
高杉　玲子（桑田）
東郷　順子（太田）
徳田　千枝（寺岡）
戸能　知子（唐川）
富島　寛美（江種）
中丸　昌子（川瀬）
前川　暁子（紙本）
前川　雪子（白井）
町田　茂子（杉原）
三宅　菊枝（延藤）
茂木　智津子（岡本）
森　　由美子（服部）
渡辺　治恵（桑田）

物故者
平田　智俊
田辺　泰治

昭和38年卒（高14回）
石川　哲之

小田　史人
草田　定巳
久保川　守
小林　義尚
佐藤　義雄
重田　久登
楢崎　昌哉
弘中　慶昭
道下　薫征
森信　慎二郎
門田　守平
和田　重則
渡辺　克彦
稲葉　佳子（中山）
小野　美枝子（佐藤）
加藤　福江（平田）
菊岡　博子（佐藤）
北川　道子（奥家）
北村　瑞枝（藤岡）
児玉　賢子（兼定）
佐藤　清子（千葉）
ｼｭﾅｲﾀﾞｰ和子（桑原）
田中　美智恵（石岡）
千葉　美江子（栗原）
徳毛　宗子（宮原）
富田　千恵子（福原）
西出　元子（岩川）
樋口　ヒトミ（加藤）
二見　育子（河野）
松田　登美子（石川）
門田　満江（藤井）
山本　芙美子（小森）
物故者
吉田　順子（鞆津）

昭和39年卒（高15回）
奥田　眞人
景山　聖之
金丸　征四
河合　諄一
北川　幸正
小林　允
下　勝
平田　隆夫
藤川　貞男
藤村　照昭
松坂　龍二
松田　正彦
吉岡　豊美
井上　喜代子（広本）
今井　朝香（新城）
宇野　正子（谷川）
角谷　和子（平地）
橋高　弓枝
熊谷　陽子（浦上）
桑田　昌子（田辺）
斎藤　和子（桑田）
幸地　哲子（原田）
重見　成美（重見）
高山　芙美子（佐々田）
根岸　貴美子（長谷川）
野宗　公美子（津村）
林　純子（久保川）
藤原　壽枝（中井）
藤原　豊美（五弓）
松本　千恵子（藤岡）
村上　幸子（倉田）
退会
森　重利（帰省）

昭和40年卒（高16回）
植岡　宏三
岡田　知行
小川　武彦
小原　匡世
金子　朱實（山本）
鎌倉　康裕
北浦　明三
木村　茂治
木村　修造
小林　由次郎
佐々田　泰宏
皿本　正仁
妹尾　好正
立上　照二
津森　祐一
寺岡　暉人
徳山　義夫
中山　正千代
長谷川　民雄
平川　治之
藤岡　克巳
松岡　浩四郎
宗村　泉一郎
薮本　達雄
江草　久子（中搭）
大津　倫子（国見）
小倉　玲子（小川）
錦古里　素子（佐藤）
斎藤　登美子（近藤）
栄　京子（小川）
砂川　妙子（小林）
佐々木久美子（豊田）

惣道　望子（広本）
高島　明子（山崎）
高嶋　美代子（徳毛）
戸田　伸枝（江種）
都丸　元恵（山本）
豊田　幸子（江草）
端山　俊子（秀高）
原　瑞穂
前田　喜代子（桑田）
村上　香代子（赤毛）
森　道子（中田）
森棟　純子（木村）
門利　恵子（豊田）
山田　敦子（金田）
山村　民枝（鎌倉）
柚木　友子（赤毛）
和田　和恵（小林）
物故者
山本　善万

昭和41年卒（高17回）
赤松　嘉之
井上　茂昭
今城　正道
大倉　正雄
大元　国義
大森　泉
岡　泰正
小川　浩
河内　恭三
橋高　利忠
佐藤　肇
塩畑　光司（森）
瀬尾　博
瀬良　學
高延　輝夫
高橋　明弘
高橋　直司
徳毛　誠治
西屋　英郎
野村　卓三
畑山　豊作
藤原　秀司朗
前川　泰夫
三浦　喬
三島　照芳
宮奥　龍二
秋山　容子
飯尾　邦子（杉原）
奥田　永子（寺延）
神谷　千恵子（能島）
笹部　葉子（松葉）
清水　サチ子（高下）
田窪　満子（三浦）
棚橋　壽美（橋本）
土井　和枝（西垣内）
登口　恵美子（小川）
萩原　洋子（木下）
真柄　睦恵（江草）
松井　育子
松岡　柳子（八藤後）
本宮　順子（森田）
森山　恵子

昭和42年卒（高18回）
浅野　悦史
石光　誠治
奥田　精二
奥田　操
川部　武郎
楠本　恭久
坂本　昇二
世良　康
高尾　進
千葉　隆幹
搭之岡　行雄
戸田　光信
豊田　和昭
長岡　由憲
中本　博通
楢崎　憲安
前田　正治
前場　裕明
三浦　信幸
宮本　俊紀
吉本　稔
大森　正子（北川）
加藤　由美子（宇川）
木原　政子（猪花）
鈴木　泰江（大本）
高橋　澄子（三島）
高橋　敏子（日野）
武田　洋子（槙原）
田中　邦子（足立）
田渕　ふみ子（山森）
塚本　光子（平田）
中田　友枝（浦上）
原　美知子（名和）
宮本　陽子（篠原）

昭和43年卒（高19回）
有地　好登

石岡　誠二
石部　裕通
内田　雄治
岡本　博志
小原　豪裕
北村　俊治
黒瀬　信行
桑田　恒久
児玉　正博
小林　寛治
佐藤　聖治
佐藤　裕保
瀬尾　彰英
高崎　憲司
高橋　達郎
田辺　博三
津田　省平
中山　善治
橋本　顕則
平井　国男
広田　康伸
藤井　照士
藤田　志郎
藤原　憲明
前田　義治
三田　希師
村上　博文
森藤　憲定
守本　清
諸岡　正行
安原　建興
矢野　雅昭
浅野　友子（平山）
井上　章子（道下）
牛久保　育子（佐々木）
大森　洋子（桑田）
笠原　多美子
川上　茂子
北橋　りまよ（北本）
久保田　清子（末宗）
黒瀬　慶子（長尾）
後藤　友子（下）
佐藤　栄子
鈴木　千恵子（藤田）
鈴木　瑞恵（藤井）
高山　福恵（石井）
田辺　茂子（若林）
月出　千津子（寺内）
常石　隆子（桑田）
野武　定子（奥野）
平井　多恵子（佐藤）
広瀬　香代子（松元）
福元　治美（神奈輪）
松岡　ひろ子（河面）
三島　久美子（八藤後）
森山　席江（森山）
山本　久美恵（高橋）
横沢　都（鈴木）
渡辺　百合子（岡田）

昭和44年卒（高20回）
浅野　健二
岩部　和記
佐々田
上岡　達三
大本　知治
岡本　陽三
小川　一志
掛江　実
勝場　啓二
河平　健造
河村　憲治
岸房　隆行
児玉　慶三
近藤　宣行（大元）
澤山　一仁
能見　栄一郎
荻原　正将
藤井　由紀
藤広　信良
町本　知賀男
宮崎　孝直
目崎　道明
森岡　晴記
山森　克史
横山　茂樹
愛久沢　京子（橋高）
浅野　洋子（富永）
安部　友恵（槙岡）
石川　孝枝（金光）
牛尾　八重子（佐々木）
吉川　恵子（荒木）
楠田　澄子（三好）
久保　恵子（楢崎）
小泉　洋子（清水）
小森山なおみ（長岡）
佐藤　美幸（松岡）
重田　米子（石川）
鈴木　律恵（石口）
武田　明美（的場）
谷川　伸子（三上）
鳥越　和子（宮奥）

中野　幸子（津村）
平岡　直子（三原）
藤田　泰子（水金）
松浦　節子（平川）
松原　妙子（二畠）
宮崎　千代子（松坂）

昭和45年卒（高21回）
大元　正朋
小川　修司
小川　卓士
鬼束　博
小貫　直行（光成）
木村　久丹彦
木村　泰之
坂本　政範
品川　滋邦
滝口　秀範
武田　雅治
日谷　伸児
渕上　正夫
細川　修宏
松川　賢二
山崎　泰範
渡邊　一弘
網野　千恵子（坂口）
市川　恵子（皿海）
岩田　明恵（西）
岡本　恭子（田辺）
香川　小枝子（池田）
川上　美根子（上元）
君島　郁美（橋高）
坂崎　すみか（長谷川）
下宮　和世（吉永）
関田　千津江（池庄司）
館　和子（田中）
富永　陽子（井口）
仲谷　貞子（大倉）
浜田　加代子（豊田）
牧野　美千代（戸田）
柳沢　厚子（味元）
吉原　茂美（田口）
川上　史子（水馬）

昭和46年卒（高22回）
大谷　環
岡　秀章
喜多　和則
栗原　正博
小林　寛
佐藤　信之
豊原　宏明
槙本　通夫
門田　博美
山脇　清明（藤井）
渡辺　研次
石井　智子（仁ノ木）
栗原　順子
司馬　霞（兔田）
高崎　美紀（小川）
津田　雅子（山手）
平尾　美智子（重松）
村田　節子（藤岡）
森本　由美　（林）

昭和47年卒（高23回）
今川　修吉
岩田　功
内田　幸雄
大浦　敬之
影山　修一
木村　健
後藤　輝明
新林　睦士
田辺　吉明
延安　賢治
藤木　利明
藤原　善充
森田　育宏
大須賀　隆子（正木）
尾高　和恵（横山）
勝岡　容子（宮後）
加藤　仁美（佐藤）
加納　洋子（高井）
亀井　智恵美（佐藤）
杉原　彰子（小野）
田中　加代子（橋高）
田辺　俊美（神原）
楢崎　洋子
長谷川　明美（内田）
原田　茂登美（藤原）
林　直美（水田）
前場　尚子（池田）
三上　温子（黒河）
山上　明美（中居）
物故者
遠藤　享子（小林）

昭和48年卒（高24回）
井上　誠
黒河　宏之
田部　啓治

戸田　泰三
東　千明（小田）
恩田　和美（横山）
佐藤　廣子（浦上）
藤原　和子（青山）
物故者
清水　一直

昭和49年卒（高25回）
石岡　義章
石口　光志
小川　満行
金田　誠志
清水　英幸
高山　稔
竹中　廣虎
殿元　清司
富澤　勝裕（楠本）
野宗　孝司
橋本　雅文
濱本　純治
原田　忠則
平川　正志
藤原　和明
藤原　和嘉
本宮　正暁
磯谷　鈴江（増川）
伊能　幸子（豊田）
原口　久子（佐々木）
本宮　直子（海野
宮坂　初恵（福地）
山本　洋子（豊原）
渡辺　緑（大場）

昭和50年卒（高26回）
小田　昌一
蔵本　誠志
皿海　康行
清水　和博
高橋　洋幸
谷本　修
土井　強嗣
冨永　博敏
藤本　暢茂
増川　達雄
和田　一義
川角　智子（林）
徳永　恵子（佐崎）
野村　祥子（福田）

昭和51年卒（高27回）
青山　滋之
沖宗　光明
児玉　智行
佐藤　宏一
豊高　誠
服部　修二
日谷　隆治
吉田　賢悟
青山　朝香（徳毛）
今井　久美子（千葉）
皿海　康子（神谷）
高田　宣子（神田）
中村　幸子（瀬尾）
中山　ひとみ
野上　典江（三木）
羽島　朱実（三笠）
養安　理恵（脊尾）
渡辺　美由紀（井上）

昭和52年卒（高28回）
岩下　哲也
甲斐　英成
金尾　昌和
神谷　達也
河原　雅彦
橋高　義治
児玉　学
高橋　清
千葉　正規
原田　実能
杼原　穣
溝上　哲治
芥川　容子（横山）
内野　美津子（三井）
江草　恵美子（井上）
大石　厚子（中元
折口　万里子（後藤）
加藤　万里子（佐藤）
亀山　澄美（菊岡）
坂手　紀美子（伊藤）
鈴木　恵子（内田）
高井　信子（稲垣）
滝口　洋子（中山）
谷本　磨諭子（石部）
服部　恭枝（藤原）
花山　照子（槙田）
前原　秀子（西畑）
三藤　裕子
矢倉　靖子（佐々田）
山岸　清美（石川）
山田　正子（安井）

山根　悦子（木村）
連下　佳代子
物故者
寺腰　妙子（高橋）

昭和53年卒（高29回）
小川　正則
河本　健
浜本　貴康
前田　朗
山中　博文
高木　友美（佐藤）
高橋　登美子（真田）
田中　由美（秋山）
森山　陽子（勝岡）

昭和54年卒（高30回）
井上　清明
井上　浩昭
岡田　秀哉
河内　秀史
九門　秀樹
神殿　広人
坂口　昌美
田辺　明宏
坪井　正博
灰原　聡
山田　伸哉
山名　研司郎
石田　京子（三好）
岩澤　明子（山上）
岡田　恵子（下江）
小川　三紀子（安原）
加美野　光枝（隠居）
川瀬　朋子（皿田）
小泉　由紀（永井）
近藤　巳智子（小川）
角野　元子（平田）
武田　絹子（黒瀬）
土屋　貴子（池口）
富田　季代恵（坂本）
永野　智子（藤井）
前田　文子（河相）
松川　奈保子（金野）

昭和55年卒（高31回）
天野　晴元
粟根　康浩
上本　直宏
江草　広滋
唐川　照史
北浦　訓行
倉田　将行
畝川　克己
徳原　直行
林　浩平
平田　俊司
保科　徹哉
松葉雅浩
山本　典令
安原　一朗
渡辺　睦浩
石原　ひろみ（唐川）
岡部　美保（河本）
小野　恵美（柴床）
田口　年美（中田）
竹中　良恵（坂本）
鳥井　育江
藤岡　郁子
藤原　美香（川中）
村田　仁美（楢崎）
渡辺　典子（山本）

昭和56年卒（高32回）
赤尾　豪宣
新庄　和彦
永久　徹
藤井　康雄
亀田　美幸子（岡本）
苅部　滋子（藤木）
西塚　芳子（土井）

昭和57年卒（高33回）
赤川　博実
尾迫　政邦
河崎　準一
神部　育也
久吉　雅宣
桑田　和典
小林　弘毅
皿田　泰二
清水　秀記
高尾　尚志
高崎　秀之
田邊　禎二
土井　光祐
長迫　佳男
西原　律夫
畠山　忠久
平田　夏樹
藤原　紳吾
舛元　成志

松井　隆行
松川　竜太郎
松本　昌樹
三島　浩二
森下　康樹
有地　美佐子（信原）
飯田　美雪（近藤）
石岡　裕子（小川）
入江　美津
植松　晴美（森本）
小川　明美（林）
小野　裕子
小林　由紀（永久）
佐藤　美由紀
松井　和子（鳥井）
松村　優子（秋本）
宮下　律江（出原）
森下　ことみ（斉藤）
平山　知子（水金）

昭和58年卒（高34回）
大下　貴之
大下　龍蔵
松岡　基博
松葉　達憲
和田　徹
小笠原　玲子（笠原）

昭和59年卒（高35回）
桑田　純雄
渋谷　和志
下江　肇
田口　充宏
長谷川　賢司
植木　弘子（皿田）
大貫　典枝（道下）
仙道　智子（吉岡）
竹村　美奈子（尾高）
水吉　真理子（福本）

昭和60年卒（高36回）
桒田　進治
久保田　知美（高橋）
渕上　恵子
前原　恵（佐藤）
村上　彩子
山守　真由美（金本）

昭和61年卒（高37回）
河相　長流
垣阪　晋
藤井　久義
山崎　信司
内山　貴美子（内海）
高部　泰子（松川）
中田　章子
中山　政代（宮前）
平尾　茂登美（塩田）
宮井　裕子（和田）
望月　育代（眞谷）

昭和62年卒（高38回）
川中　健治
中山　恭男
池末　芳子（大森）
石原　典子（馬屋原）
川中　美幸（川内）
安部　恵子（臂）

昭和63年卒（高39回）
金巻　雅実（中山）
門田　隆之

平成元年卒（高40回）
福庭　靖二
藤野　克彦
船本　忍
渡辺　弥生（津川）

平成2年卒（高41回）
河原　淳
磯貝　教子
長谷川　悦代（木下）

平成3年卒（高42回）
北島　知彦
石井　巧美

平成5年卒（高44回）
松本　拓也

平成7年卒（高46回）
塩田　律

平成8年卒（高47回）
小川　一也

平成11年卒（高50回）
大村　俊雅

個人情報の取り扱いについて

皆様方の個人情報は、同窓会の総会・懇親会の連絡、本会報の作成・発送他、同窓会活動にのみ使用致します。ご本人からのご要望があれば、情報の修正・削除について速やかに対応致します。

今年（2009年）の会報発送について

本来なら左記の名簿の方全員にお送りしたいのですが、支部の財政事情もあり、なかなか適いません。

今年は概ね以下の基準で送付先を絞り込ませていただいております。もし、該当の方で「届いていない」という方や、「名簿以外の人にもPRしたいので」というご要望がありましたら、若干の予備を用意しておりますので、ご遠慮なく広報担当　長谷川までご連絡下さい。

・過去4年（平成17年　2005年以降）間で一度でもご出席の有る方

・昨年の出欠ハガキを返信下さり、「送付してほしい」にチェックいただいた方

・昨年当番幹事年次（39年、49年、59年）

・今年の当番幹事年次（40年、50年、60年）

・来年の当番幹事年次（41年、51年、61年）

・新規もしくは再登録者

この様な過程を経て、今年は600部を用意し、内550部を皆様に発送予定です。

皆様の近況報告

（2008年6月到着分の返信ハガキから）

旧制府中中学

昭和13年卒

・延藤　安男
先日、墓参りの為、府中に帰りました。久方ぶりに同級生の友人と中学時代の思い出話をしました。皆々様のご多幸とご健康をお祈りします。

昭和19年卒

・柳島　啓三
ガンと戦いながら・・、生きています。目の前は江ノ島！　鎌倉のお寺参りが元気のでる秘けつかも。この年でパソコン4台と遊んでいます。

・門田　晟
白内障手術予定の為、今年（2008年）は出席不能となりました。

昭和20年卒

・桑田　喜久己
81歳となりました。元気ですがこれからは一寸出席は無理です。大変お世話になりました。

・橘髙　大典
後輩諸君、土地付きの家をご希望されたら秋葉原からの「筑波地方」を探されたら！

昭和23年卒

・山中　玄造
私のクラスは昭和23年卒と同年発足の新制高校第一回卒業（同24年卒）との二つに分かれています。郷土誌「備後春秋」の最新6月号に、ボクシングの出原兄弟につき書きました。（兄の雄二郎君とは同学年）
兄弟とも早大の主将となり、弟の万三君は早大監督を28年間（平成13年まで）務めました。今回は股関節変形症の為欠席致します。

新制高校

昭和25年卒（高1回）

・藤井　満
旧満州の大連中学同窓会と重なりましたので欠席致します。

・北島　浩子（大永）
畑を借りて野菜を作っています。大麦・小麦も良くできて収穫後の製粉を準備中、と雀に全部食べられてしまいました。今年播く種の入手に困っています。

昭和26年卒（高2回）

・森田　祥一
元気に生活していますが段々と思うように身体が動かなくなりつつあります。老後をどう生きるか今現在考えています。同窓会の発展を願っております。

・唐沢　信安
今回はご案内いただき有難うございました。次回は皆様にお会いしたいと思います。

・宅味　大治
近年は年に５～６回は帰省しています。府中東小学校（2008年から近隣と統合されて、専売局跡地に新築移転）の同期会旅行にも毎年参加しています。2008年は府中高校同期の会と有馬、宮島に行きました。

昭和27年卒（高3回）

・藤田　靖
会報創刊おめでとうございます。同窓会の存続と発展に大きな役目を務めるであろうことを確信しています。

昭和28年卒（高4回）

・児玉　克治
奈良の帝塚山大学へ縁あって12年の奈良暮らし。若い人達と国際経済の未来を語っていました。2008年春任期満了で旧居に帰り、12年間をふり返っています。

昭和29年卒（高5回）

・佐々木　徳尚
西東京市太極拳協会（NPO所属）の理事長等を拝命し、なかなか多忙を極めています。他に西野流呼吸法（於 渋谷）などで健康に留意する日々です。皆さんお元気で！

・田中　忠夫
会報に出欠ハガキのメモが記されていましたが、あれは良いことと思います。特に高橋道尚君（ラリー）の記事は、同級生で同じ横浜に居ても会う機会がなく近況が伝わり懐かしく思いました。会報は良いことです。

・渋谷　道尚（高橋）
今年も　JAF全日本ラリー選手権とFIFAアジアパシフィックラリーチャンピオンシップ併催の審査委員として7月10日から14日まで北海道に出張しております。同窓の皆様によろしく。

・後藤　修司
今年も勤務していた会社のOB会行事と重なり残念ながら参加できません。

・佐藤　暎子（赤松）
毎年楽しみに参加しておりましたが、今年は自治会の役を仰せつかりいろいろと行事が多く参加出来なくなりました。

昭和30年卒（高6回）

・小林　進
会報楽しく拝見しました。今年も同郷の皆様に会えることを楽しみにしています。昭和30年卒業生の趣味の作品展（絵画・書・工芸品等）を今年（2008年）も福山天満屋にて8月26日～31日開催します。私も油絵を出品予定です。

・桑田　澄江（住田）
百名山の登山とまでは行っておりませんが、7月は毎年山行きがあり欠席しておりましたが、今年は主人（桑田　弘也）と一緒に出席するつもりです。

昭和32年卒（高8回）

・卜蔵　建治
2007年末、弘前から関東に移住してきました。冬の明るさに感激しました。

・前川　昭彦
新支部長の紹介に懐かしいお名前を発見。同級でした。当日は教え子達が私の古稀の祝いをしてくれる事になっており残念ながら出席できません。皆様によろしく。

・三谷　明（福山支部　会長）
私事で恐縮ですが2008年8月12日～17日、銀座4丁目鳩居堂で個展を開きます。盛会を祈っています。

昭和33年卒（高9回）

・岡脇　光枝（岩下）
今年は出席できるかと楽しみにしていましたが都合が悪くなりとても残念です。一日一日大切にしながら楽しく生活させていただき心より感謝しています。素晴らしい会になり１人１人が楽しい良き思い出を作られますように。

・城戸　通子（古川）
私事まだ介護が続きます様で、出席が適う時には是非お願いします。

・長谷川　晋朗
昨年（2007年）昭和30年卒の兄が亡くなり、残された事業の継承などで大変忙しくしております。

昭和34年卒（高10回）

・森川　裕司
カラーの会報有難うございます。同級会には毎年参加しています。府中には年に2回行きます。が・・・芦田川の両岸全部を桜土手にして観光の府中を新鮮にしましょう。河川の中州も整備しないと20年頃の大水害に見舞われそうです。

・鈴木　皖之
断り続けていた地域公民館（分館）の分館長を仰せつかり、毎日忙しくしています。土日は殆ど行事と会議で埋まっています。２年間はじっと我慢・・・かと思うこの頃です。幹事の皆様いつもご苦労様です。

・藤原　稔由
幅広い年代の方々と年一回　東京同窓会でお会いできる機会は大変ありがたく、楽しみにしております。

昭和37年卒（高13回）

・三宅　菊枝（延藤）
相変わらず倉敷（自宅）と東京を行き来しております。

・香山　拓子（瀬尾）
4年後には学校創立100周年を迎えるとの事には感慨深いものがあります。（母も含め、兄姉全員が府中高校なので）幹事さん・会計の事を思うといつも欠席する私は、送付を希望しないにチェックを入れました。今まで有難うございました。感謝感謝です。

・山崎　重人
最近はクラブに入り、随想を書く勉強をしています。

・朝野　睦子（山中）
昨年（2007年）、出身中学別のテーブルで、いとこ達の話が出て懐かしく、急に親しみを感じました。

昭和38年卒（高14回）

・西出　元子（岩川）
公文教育研究会で現役として地域の子どもと共に教育のあり方を考えて指導しています。会報を読み、皆様の活躍に感動しています。

・門田　守平
会社生活卒業後は町内会の役員として多忙な日々を送っています。地域の人々に少しでもお役に立てば。

・山本　芙美子（小森）
今年は出席しようと思っておりましたが、田舎の母が先日亡くなり行ったり来たりとなり、来年（2009年）にと思っています。

・松田　登美子（石川）

満63歳、5年前から主人と海外旅行に行き始め、世界五大陸。NHK世界遺産、ほとんど行きました。お金も使い、又日本を外から見ることが出来、なんて小さい器が。
もっと世界を見なければ笑われる。

昭和39年卒（高15回）

・松田　正彦
会報ありがとうございます。府中学園の話とか、いろいろ故郷に興味を持ちました。スローライフにもなれるため、何十年ぶりですが府中に帰ってみます。本当にありがとうございました。
・飯田　幸子（粟根）
昨年会えなかった人達に会えることを楽しみにしています。
・高山　芙美子（佐々田）
主人の病気療養の為出席できません。残念ですが、いつか又機会があると思っています。

昭和40年卒（高16回）

・森棟　純子（木村）
懐かしい氏名をいくつか見出し、一時府中の街に思いを馳せました。自分の年齢は意識することなく、仕事に追われております。たまに石州街道の面影を残す“出口通り”の像をパソコンで眺めては懐かしく、“私のふるさとはなかなかのもんだ”と独りごちています。
・藤岡　克巳
60才を越えましたが、再就職をしてフルタイムで都心まで通勤しています。

昭和41年卒（高17回）

・徳毛　誠治
このような同窓会の運営は非常に難しいと思います。やり方に苦慮されていると思いますが、相互に歓談できる状況をいかに設定するか考慮下さい。又、会員8000円はちょっと高いと思います。高い割りには料理が不足しています。

昭和42年卒（高18回）

・奥田　操
7月6日平塚将棋大会です。府中高校時代は野球に希望を持って入学しましたが、福山電波高の浅野、村田（プロ入団）と試合して挫折いたしました。

昭和43年卒（高19回）

・小林　寛治
当日は海外出張の為、欠席させていただきます。新人研修をインド・中国で実施していまして、その最終の発表と打ち上げに出るためです。

昭和44年卒（高20回）

・藤広　信良
昨年（2007年）、同期の宮崎夫妻に声をかけてもらい、初参加いたしました。いろいろと感動しました。今年も参加させていただきます。

昭和45年卒（高21回）

・香川　小枝子（池田）
会報読んで出席してみたくなりました。
・網野　千恵子（坂口）
もう一度府中高校に戻りたいほど、友に恵まれ、思い出のつまった三年間でした。ただし学問が頭につまっていない事が残念です。あと1週間後でしたら参加させていただけたのですが。
・森鴉　節男
今回（2008年）初参加で同期の方とお会いできるのを楽しみにしております（静岡県在住）
・日谷　伸児
毎年夏の清涼剤になっています。

昭和48年卒（高24回）

・藤本　直子（西谷）
昨年（2007年）出席し、楽しい時間を過ごす事ができました。幹事の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。やっぱりふるさとは　“ええなぁ～”と、学生時代にはすぐ戻れるし、・・・またいつか出席したいと思います。
・井上　誠
2008年5月より名古屋に異動しました。同窓会の手伝いができなくなりましたが、何とか都合つけて参加したいと思います。

昭和49年卒（高25回）

・清水　英幸
こちらに来て30年になります。色々とありましたが、何とかやっています。（長野県在住）
・原口　久子（佐々木）
伊能さんにたびたび誘っていただきましたが、7月5日に子供の学校の研修会の予定が入り、準備等協力が出来そうにありません。盛会を心よりお祈りしております。前回10年前には、皆様に多大なご迷惑をお掛けしたこと、重ねてお詫び申し上げます。
・藤原　和明
49年卒が中心となって運営の同窓会とご連絡いただいておりましたが、申し訳ありません。現在仙台にて単身赴任中で6年になります。お陰さまで掃除・洗濯はずいぶん上達しました。

昭和50年（高26回）

・冨永　博敏
誠に申し訳ありませんが当日先約あり欠席させていただきます。現在食品メーカーで研究開発を担当していますが、原料高の中でのヒット商品作りは大変です。

昭和51年（高27回）

・松岡　信宏
今般、再び海外赴任となりましたので、日本に住所がなくなります。当面会報不要です。

昭和52年卒（高28回）

・金只　京三（府中本部　幹事長）
100周年に向けての準備もスタートしています。皆様によろしくお伝え下さい。

昭和54年卒（高30回）

・土屋　貴子（池口）
今回も都合がつかず欠席致します。故郷を離れてもう30年！　ふり返ればあっという間の出来事の様な気がします。不思議な縁で、娘の同級生のお母様二人が、府中高校の同級生だった事がわかり涙の再会をしました。

昭和57年卒（高33回）

・平山　知子（水金）
学校行事の予定を確認していたので返信が遅くなり申し訳ありませんでした。初めての参加で楽しみにしています。

昭和59年卒（高35回）

・植木　弘子（皿田）
今回当番幹事であったにもかかわらず、何もお手伝いができず申し訳ありません。
・金廣　康子（荒木）
ご案内有難うございます。私は相変わらず専業主婦です。残念ながら当面参加・協力できないと思うので会報等遠慮致します。

昭和61年卒（高37回）

・佐々木　利美（渡辺）
夫の出身地である秋田県に引っ越して7年。東京に住むことは無いと思いますので今後は遠慮させていただきます。有難うございました。

昭和62年卒（高38回）

・川中　美幸（川内）
毎年ご案内有難うございます。子供がいますのでなかなか出席することができず残念です。会報を読んで懐かしい気持ちで一杯になりました。

平成2年卒（高42回）

・長谷川　悦代（木下）
いつもご連絡ありがとうございます。総会に出席できるようになりましたら、改めてご連絡させていただく事にしたいと思います。

平成7年卒（高47回）

・塩田　律
三味線音楽を専修し、昨年（2007年）東京芸大大学院を修了しました。同窓会の存在を今年（2008年）初めて聞き、参加させていただきます。

この他にも多くの皆様から「会報楽しく読んだ」「良かったよ」「ますますの充実を望む」という声を頂きました。なによりの励みになります。

お年の順にお名前のみで申し訳ありませんが列記させていただきます。有難うございました。

高西忠司 鈴木洋子 川原　進 永久計朗　高辻知義
田里幸子 小野公子 崎谷 璋 坂本幸喜 広川克郎
橋本洋子 服部 治 佐々田泰宏 飯尾邦子 君島郁美
新林睦士 前場尚子 延安賢治 加藤仁美 藤原義允
谷本磨論子 花山照子 松村優子 有地美佐子

訃　報

謹んでご冥福をお祈り致します。

旧制中学	S20年卒	桑田	健市様
	S22年卒	田中	毅様
新制高校	S29年卒	正武迫	英明様
	S32年卒	松岡	茂樹様
	S37年卒	田辺	泰治様
	S47年卒	遠藤	享子様
	S52年卒	寺越	妙子様

母　校　　今　昔

左は昭和30年の卒業アルバムから「正門から校舎を望む」　中央は昭和45年のアルバムから体育館
右は平成19年撮影の現在の体育館です。

東京支部の活動と母校

東京支部の活動報告

常任幹事会の設置

一昨年2007年から常任幹事会を設置し、現在下記メンバーにて活動中です。

藤岡　康宏（昭和32年卒　高8回）
小川　英光（昭和35年卒　高11回）
戸田　豊　（昭和32年卒　高8回）
山中宮次郎（昭和34年卒　高10回）
金田　邦彦（昭和37年卒　高13回）
佐藤　義雄（昭和38年卒　高14回）
鎌倉　康裕（昭和40年卒　高16回）
渕上　正夫（昭和45年卒　高21回）
長谷川陽一（昭和57年卒　高33回）

（活動内容）

・常任幹事会の開催（不定期年6回前後）
東京支部の活性化や本部・母校との連携に関する案件検討。直近では100周年記念事業

・当番幹事との合同幹事会（不定期）
当番幹事との意思疎通を図り、円滑な総会・懇親会に備える。

支部会則の改訂

今年の総会に諮り承認いただく予定ですが、主眼は以下2点です。

・会の目的を再定義したこと
　会員自身の幸せを願い、母校と郷里への寄与する等

・より実態に近く
　役員の定数や総会開催時期について改訂

年次世話人制度の導入

年々、高齢化が進み、総会・懇親会参加者が低位安定している現状改善の為に、総会・懇親会への出席を各年次内で呼び掛けていただける「年次世話人」制度を創設いたしました。年次世話人の方は幹事会への参加の義務は無く、ご自身の同期の皆様に連絡頂くのが役割です。

今後全ての年次に世話人を設置できるよう根気強く進めて参ります。

2009年4月現在で下記の年次世話人の方に登録頂いております。（敬称略）

山崎 令氏　（昭和31年卒　高7回）
戸田　豊　（昭和32年卒　高8回）
福万　博教　（昭和33年卒　高9回）
山中　宮次郎　（昭和34年卒　高10回
唐川　安弘　（昭和35年卒　高11回）
菊岡　和俊　（昭和36年卒　高12回）
五阿弥　延衣　（昭和36年卒　高12回）
山崎　重人　（昭和37年卒　高13回）
佐藤　義雄　（昭和38年卒　高14回）
河合　諄一　（昭和39年卒　高15回）
寺岡　暉人　（昭和40年卒　高16回）
原　瑞穂　（昭和40年卒　高16回）
徳毛　誠治　（昭和41年卒　高17回）
川部　武郎　（昭和42年卒　高18回）
田辺　博三　（昭和43年卒　高19回）
河平　健造　（昭和44年卒　高20回）
今川　修吉　（昭和47年卒　高23回）
石岡　義章　（昭和49年卒　高25回）

当番幹事　主幹事年次の若返り化

昨年2008年の昭和49年卒の皆様の運営が非常に好評で、今後の会の継続を鑑みるとより若い世代の感性で総会・懇親会を企画・運営した方が望ましいであろうとの結論になり、今後は昭和50年以降の年次に主幹事年次として切り盛り頂き、次の世代の昭和60年以降の年次にも積極的に関与頂くべく図ります。

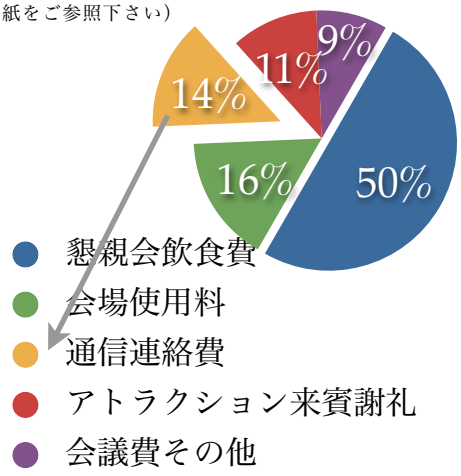
もちろんこれまでご活躍いただいております49年以前の皆様にも引き続きご協力・ご助言・サポートをお願いいたします。

通信連絡賛助金の導入

同窓会の今後の財務基盤強化は、会の目的である会員相互の親睦と母校郷里への寄与を果たす上で必要不可欠な要件となります。

現在支部運営の費用は下記のような内訳で総会・懇親会に出席の方の参加費に殆どを頼っています。会費7000円の場合は飲食には3500円しか割り当てできないのが現状です。

今年から会報をお送りしています皆様に「任意」を前提に、お一人様1000円/年の「通信連絡賛助金」のご協力をお願いする事にいたしました。これによって将来は、総会・懇親会の会費を安くし、若年層の出席増も期待しております。どうか宜しくお願い申し上げます。（詳細別紙をご参照下さい）



当番幹事　（昭和50年卒）から　今年はこんな会を目指します。

今年は若年層の参加を促す初めての試みとして、開会に先立つ「名刺交換会」と、加えて全ての方の関心事「健康」に関するミニセミナーの、二つの目玉企画を考えています。もちろん、村上彩子さんのミニコンサートもございます。

また昨今の景気を考慮し、若年層の方・初めての方にももっと気軽にお越し頂けるよう、会費を6000円/人に引き下げます。誠に恐縮ですが、ご出席の皆様は軽く昼食を各自で召し上がってご来場下さいます様お願い致します。当日の料理は予算的にも軽食となります。かかる事情をご賢察いただき何卒ご協力お願いいたします。

（この他にも各種割引を用意しております。75歳以上及び平成卒の方は5000円、ご夫婦はお二人で1万円、学生さんは3000円です。）

同窓会の流れを学ぶため、9年ぶりに昨年の同窓会に参加しました。
総会はとても盛況で、村上さんのソプラノ独唱に感動しました。懇親会では同期の人たちと久々に旧交を温めることができ、3時間がとても短く感じ、楽しく有意義な時間を持つことができました。
先輩方の会の運営や進行を目の当たりにし、昭和49年卒の皆さんの段取りの良さ、団結力のすばらしさを感じましたが、残念に思ったのは若い世代の参加がとても少なかったことです。常任幹事の皆様はもとより、毎年ご出席されている先輩方も、20代、30代、40代の参加者が少ないことが東京支部としての課題と認識されているのではないでしょうか。本年は、若い世代の方が多く参加される同窓会を目指したいと思っております。

また、昨年のリーマンショック以降世界は100年に１度の経済危機といわれておりますが、同窓会に参加下さる皆さんが、少しでも元気になれるような会にしたいと思っております。

母校は、3年後に創立100周年を迎えます。今年の東京支部総会・懇親会が2012年に向けてのホップの年となるような会にしたいと決意しております。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さいますよう当番幹事一同お待ち申し上げます。

当番幹事　昭和50年卒（高26回）代表　小田　昌一

母校　修学旅行時の企業・大学研修受け入れについて

昨今の若者の、フリーター化・ニート化・高い離職率に強い危機感を抱かれた学校では、今まで個別に在校生の受け入れ先を依頼していたのを改め、今年度から東京支部に在校生の受け入れ窓口となってもらいたい旨、現在の下井泰全校長先生からお願いがございました。

常任幹事会では、今まで個人的に受け入れて来られた先輩方が定年等で職場を離れられる事もあり、より広範囲に我々同窓生の協力が不可欠と判断し、年次世話人のおられる年次を中心に受け入れ募集したところ、4月時点で下記の15の団体から受け入れ表明を頂きました。

現在の府中高校2年生は6クラス240名で、下井校長のお考えでは10人程度のグループ24グループ編成で回れたらとのご希望でした。今年は初年度でもあり、全て同窓生のいる企業・大学というわけにはいきそうにありませんが、後輩達が「社会人としての心構え」「仕事に対する正しい認識」を持つきっかけになれば、東京支部今般の規約改訂の大きな趣旨でもある「母校・故郷の発展への寄与」の一歩として誇れる事であろうと思います。

（現在受け入れを表明していただいている企業・大学は下記の通りです。）
早稲田大学、駒澤大学、大東文化大学、東京工業大学、鎌倉公認会計士・税理士事務所、リョービ、全日本空輸（ANA）、清水建設、日清フーズ、(財)労務行政研究所、JICA (国際協力機構)、外務省、日本信号(株)、医療法人徳州会、池田糖化工業

今年の修学旅行・企業研修は10月7日（水曜日）と決まっております。

来年以降も継続されるはずですので、ご協力頂ける方、ご連絡下さい。

編集後記

支部会報2号の初稿を幹事の皆さんに送付して、4月最後の土日はちゃっかり北海道でゴルフをしたのですが、5月も間近というのに日曜日はなんと雪が降りました。スコアはメタメタでしたが記憶に残るラウンドになりました。

昨年のGW連休は自宅のパソコンと家庭用のｲﾝｸｼﾞｪｯﾄﾌﾟﾘﾝﾀｰで会報創刊号700部およそ9000枚の印刷をしておりました。
今年は、50年卒の増川さんに会報の印刷ご協力頂き、大変助かりました。本当に有難うございます。

私事ですが正月明け早々、義父が脳塞栓でリハビリが必要となり、家内の家族とも思いがけず協力して義父のサポートをする事になりました。義母も家内も弟夫婦もこれまで各自勝手に生活してこられた分、「少し親孝行をしなさい」、「姉弟協力しておやりなさい」という天啓とも思えます。
皆様からの近況報告にも、「故郷に親が健在でちょくちょく帰省する」と良くあります。人それぞれ出来るレベルや規模は違っても、親や上の世代にしてもらった事は、きちんと我が子や次の世代に伝えて行きたいものです。

我が家の愛犬
黒柴の小鉄（3才）
です。

さて会報3号は皆様からの寄稿やお便りに囲まれて、どれを掲載させていただくか取捨選択に呻吟するほど、たくさん生の声が頂戴できると嬉しいです。お便りお待ちしております。

会報・名簿担当
57年卒（高33回）
長谷川　陽一